

行ってみて
やってみて
働いてみて!

わが家の近所で 突撃取材!

『どうふ菜園』
障害者の就労を支援!

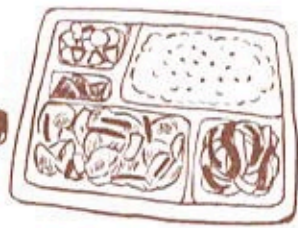
今月おじゃましたのは……

私の地元唯一の幼なじみといえ、玉川学園「どうふ菜園」の施設長・高橋俊希くん。そんな彼も10月末に経営母体ウイズ町田の「なないろ」という施設に異動になってしまいました。前々から「よかったですらうちも取材してね」「わかった」と言いながら全然取材しなかった私。ごめんね、じゃ異動祝いということと、どうふ菜園を取材、おぼろ豆腐作りにもトライさせてもらいました。

さて、簡単にとどうふ菜園の説明を。ここはお豆腐屋さんであり、障害などにより企業等に就職が困難な人に対し、雇用契約を結ばずに働く場所を提供する施設(就労



奥の厨房は結構広く、現在通所者18名、スタッフ6名が働いています



DATA
玉川学園2-7-13
042-725-5040
休み/土日祝
営業/10-19時

お昼のお弁当450円もあり(予約制)。ヘルシーで彩りのよいお弁当です。豆乳ふりやとうふドーナツもおすすめて

継続支援B型と呼ぶそうです)。契約を結ばない分、雇用契約を結ぶA型に比べて自由。作業の対価である工賃をもらいながら自分のペースで働くことができるそう。で、俊希くんがここに赴任したのは今から5年前。お豆腐以外にもいろいろ売って通所者さんのお給料を増やそうと奮闘。おぼろ豆腐に湯葉、おからコロッケなど、素朴で味のよい惣菜がケースにたくさん並びようになりました。

「豆乳は宮城の森徳豆腐店というお豆腐屋さんから、にがりには沖縄産の天然にがりを仕入れていて、安心な材料しか使っていないので、自信を持っておすすめできます」とのこと。取材当日、私がにがりを混ぜて作ってみたおぼろ豆腐と売り物を食べ比べ。うーん私が作ったのはいまいち……「にがりを入れるタイミングとか混ぜる速さとか、けっこう慣れと技が必要なんです」と俊希くん。商品のおぼろ豆腐はほんのり甘く、柔らかく、大豆のいい香りがしました。俊樹くんはもういませんですが、これから買いに行きますね。

バナデリアシエスタ 「あんバターコッペ」 (250円+税)

以前、玉川つばめ通信10号でも紹介した、子どもの国駅近くのおいしいパン屋さん、バナデリアシエスタ。じつは玉川つばめ通信のイラストレーター・金子伸子さんが週数回、シエスタで働いているのですが、彼女に「秋の新作のあんバターコッペがすごくおいしいから食べてみて」と言われ、早速食べに行きました。目的のあんバターはサンドイッチが入っている奥の保冷ケースに2つのみ。早めに行かないと売り切れてしまうそうなので要注意です。で、大きな口で冷たいあんバターコッペをほおぼってみると……おー！コクがあるけどさっぱり。あんは程よい甘さ。冷たく礼儀正しく挟まった四角いカルピスパターのおいしさと言ったら！食べる前はぜひしっかり冷やしてから「がぶっ」と召し上がってみてくださいね。



まちの名品、教えます

「住吉食堂が閉店するらしい」というウワサは、今まで何度も聞いていたから、今回も「どうせいつものウワサだろう」とタカを括っていたのです。夏に「お休みします」の貼り紙を見ても、秋には再開するだろうと思っていました。ところが今回本当の閉店。トレードマークだった「住吉食堂」と書かれたオレンジの幌の看板が取り外されているのを見たときは、え〜？と思わず車を停めて見入ってしまいました。聞けば今年の前半に店内厨房の床で滑って転び、「そろそろ引退かな」と自覚したという料理人歴60年、御年80歳のご主人。コロラド、きやろっと、住吉食堂……もうないけど玉川学園のシンボルだったお店たち。ずっと忘れないようにしようと思います。町田ジョルナ4階の老舗喫茶店「ノイズ」と本町田の元共栄ストア近くの「正太楼」はまだあるけれど、この2つも町田のシンボリックな老舗。なくならないように行かなくちゃ。

の
思
い
出
21

住吉食堂、閉店しましたねえ。あのオレンジの幌はもう二度と見られないと実感する日々です。

玉川学園つばめインフォメーション

●今夏72年ぶりに復活した「玉川音頭」のDVDをエリムラにて500円で販売中。また、ジャーナリストの三浦展さんが最新刊『100万円の家を買って、週3日働く』(光文社新書800円+税)で玉川学園やつばめイベントについて取り上げてくれました。こちらでも現在エリムラで販売中。ぜひぜひお買い求めください。

●今年は秋から冬にかけて本業が忙しく、秋のバザーもスナックつばめも小料理つばめもできませんでした。できる範囲で、と思いつつも、開催できないとなんとも申し訳ない気持ちです!



●オール町田体制のまちだのごと大作戦実行委員会で支える「まちだのごと大作戦18-20」。「私も〇〇をやってみよう！」の実現に向け、ぜひエントリーしてみてください。問042-724-4084(町田市役所広報課まちだのごと大作戦)

気になる モノ mono koto ヒト スポット spot



話のイラストレーター
本田 亮さん

毎朝、郵便局の前で子どもたちの安全のために旗振りしています。本人曰く「いや規則正しい生活のためですけど」

「玉学に引っ越してきた本田さんって人が毎朝、町5小の旗振り当番に参加してくれてるよ。独身男子なのに自立的に」と教えてくれたのは友人Sちゃん。早速見に行くと、彼が旗振りしながら「おはよう」と子どもたちに声かけ中。聞けば本田さん、岩波少年文庫の挿絵のほか、多くの書籍で活躍する有名なイラストレーターさん。自由でフットワークの軽い本田さんは玉川学園おもしろ活動の一翼を担ってくれる人だ! ようこそ玉川学園へ!と敬意を表しつつ、毎朝夫を車で駅に送った帰りに手を振っています。ちなみに12/1、5丁目のなかよし公園で玉川総合研究所・秋田さんによる「おむすび食堂」が野外初開催。スターバックスの出張ボランティア(本物のスタバで感動!)に混じって本田さんもお手伝い中でびっくりしました。引っ越してきたばかりの人にも積極的に声をかけようっと!